

2020年12月10日

各位

株式会社イズミ
東広島市
国立大学法人広島大学
MONET Technologies 株式会社

小売り MaaS を自動運転車で実現するプロジェクトを開始

～学生や子育て世代、高齢者などのお買物を支援する新たなサービスの展開～

株式会社イズミ（以下「イズミ」）、東広島市、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」）、および MONET Technologies 株式会社（モネ・テクノロジーズ、以下「MONET」）は、スーパーマーケット等と連携した小売り MaaS を自動運転車で実現する「Autono-MaaS（オートノマース）」※の実用化に向けたプロジェクトを、2021年2月から開始します。このプロジェクトは、学生や子育て世代、高齢者などのお買物を支援する新たなサービスの実証を目的として、広島大学の東広島キャンパスの学生および教職員や西条町下見および西条下見地区の住民（以下「モニター」）を対象に、下記の実証実験に段階的に取り組みます。

なお、実証実験に参加していただくモニターは今後募集する予定で、参加が決定したモニターへ各実証実験の詳細をご案内します。モニターの募集の詳細については、別途お知らせします。

※ Autonomous Vehicle（自動運転車）と MaaS を融合させた、自動運転車を利用したモビリティサービスを示すトヨタ自動車株式会社による造語

<実証実験の流れ>

(1) 2021年2月～2022年3月 オンデマンドバスでスーパーへの送迎と商品の宅配を同時に行う

- 概要：①MONET アプリで車両を予約しモニターが指定する場所から「ゆめタウン学園店」まで送迎するサービス
②電話で注文した商品をモニターが指定した場所・時間に配送するサービス
(※一部配送の対象外となる商品があります)

エリア：西条町下見および西条下見地区

対象者：西条町下見および西条下見地区の住民

利用料：無料

※オンデマンドバスとは、MONET が開発した「マルチタスク車両」のこと。「マルチタスク車両」は、シートを外すことで大きな荷物の配送や車椅子での乗車も可能な車。

【オンデマンドバス（マルチタスク車両）】



【提供エリア】



※イメージ図

(2) 2021年3月～2021年8月 自動運転車で広島大学キャンパス内の移動を行う

概要：MONET アプリで車両を予約し、モニターが指定した停留所から乗降するサービス

【自動運転車】

エリア：広島大学構内

対象者：広島大学の東広島キャンパスの学生および教職員

運行法：定時定路線

利用料：無料

※自動運転車は、米国で公道走行実績がある May Mobility（メイモビリティ）社が開発した車、日本初輸入。



(3) 2021年9月～2022年3月 自動運転車でスーパーへの送迎と商品の宅配を同時に行う

概要：①MONET アプリで車両を予約し、モニターが指定した停留所から「ゆめタウン学園店」まで送迎するサービス

②電話で注文した商品をモニターが指定した停留所・時間に配送するサービス
(※一部配送の対象外となる商品があります)

エリア：広島大学の東広島キャンパスと「ゆめタウン学園店」を結ぶルート

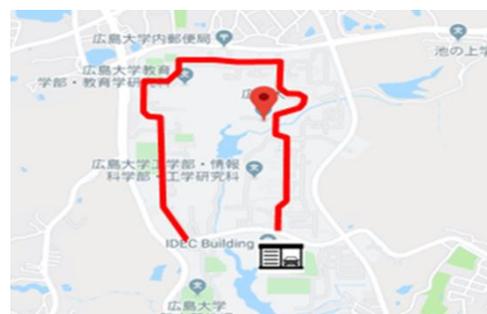
対象者：西条町下見および西条下見地区の住民

運行法：定時定路線（停留所 10 箇所の予定）

利用料：無料

【自動運転車】

【運行ルート】



■『BOPIS』などの実証実験 2021年3月～（予定）

概要：モニターがイズミに電話で注文した「ゆめタウン学園店」の商品を、店頭カウンターで受け取れるサービス（『BOPIS』（Buy Online、Pick-up In Store））を実施

受取方法：店頭へは、(1) のオンデマンドバス、自家用車、自転車、徒歩等受け取り手段は自由

なお、このプロジェクトに先駆けて、東広島市、広島大学および MONET は、自動運転社会を見据えたデータ収集を目的に、東広島キャンパスや周辺地域において定時定路線およびオンデマンド型の「広島大学循環バス」を、2019年10月から2020年7月まで運行しました。また、2020年11月からは、東広島市の住民などが安心してお買い物に出掛けられるよう、車内におけるパーソナルスペースの確保と換気に配慮した MONET の「パーソナルベンチレーションキット」を架装した車両で、オンデマンド

型の「広島大学循環バス」を運行しています。MONETのアプリで乗車予約をすることで、「ゆめタウン学園店」を含むバス停で誰でも乗降することが可能です。「Autono-MaaS」の実用化に向けた今回のプロジェクトでは、これまでのバスの運行において収集したデータを活用し、より利便性の高いサービスを実証することを目指しています。

<プロジェクトの全体像>



※ 各実証実験の実施時期は、変更になる可能性があります。

※ このプロジェクトは、自動運転社会を見据えた新たなモビリティサービスの創出と実証を目的とした「東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム」の取り組みの一環として実施するものです。「東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム」の事務局は、東広島市、MONET および株式会社現代文化研究所が務め、企業や団体、有識者、関係省庁などが会員として加盟しています。なお、オンデマンドバスによる貨客混載などの実証実験は、経済産業省 中国経済産業局の委託事業として実施するものです。

■実施体制

「東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム」	東広島市	実証実験場所の提供、住民などの関係者との調整
	広島大学	自動運転シャトルの運行に関わる設備提供、自動運転のデータ解析、実証実験場所の提供など
	イズミ	新しいお買物サービスの提供 (BOPIS など)
	MONET	オンデマンドバスの配車システムの提供、「マルチタスク車両」の架装、自動運転シャトルの走行支援
	その他の協力団体・企業	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県タクシー協会 (「ゆめタウン学園店」の商品の配送) ・広島トヨペット株式会社 (自動運転シャトルの整備)

以上